

名 称： 育成複層林施業モデル林
場 所： 中信森林管理署 川鹿沢国有林244せ林小班 長野県松本市
面 積： 3.88ha 樹 種： カラマツ
林 齢： 24年 機能類型区分： 国土保全タイプ
森林現況： 単層林

○目標とする森林： 土砂の流出崩壊防止のため、カラマツ単層林内で天然発生ミズナラやカンバなど有用広葉樹を併育し、落葉・落枝による地表面の保護等を目的とした針広混交した森林

○誘 導 手 法： 間伐を繰り返し、針広混交林へ誘導

○作 業 経 過： 1983年 皆伐

1984年 カラマツ植付(1000本/ha)

天然発生した広葉樹等の稚樹が顕著に見られ、カラマツは補助植込とし施業した。

1984～1987年 下刈(坪刈)

1993・1995年 除伐

○施 業 効 果： 天然発生した広葉樹はミズナラ、カンバ、カエデ等であり、カラマツの列間に併育している。

現在の林分状況



撮影：2007年7月

【連絡先】 中信森林管理署 050-3160-6050 記載年月：2008年5月

中部森林管理局 <http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/shinrinzukuri/index.html>

林 野 庁 <http://www.rinya.maff.go.jp>